

7月30日(土)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: TOSHIBA Leading Innovation >>>

ほぼ

日刊サマ-ミュージカ

Hobo Nikkan Summer Muza



ミュージカがナイトクラブに!?



7月29日(金) ルドルフ・ルッツ&佐山雅弘 ~大好評! サマ-ナイトジャズ・セッションII~ 撮影: 青柳聡

首都圏に梅雨明け宣言が発表され、フェスタ気分も最高潮のミュージカ川崎シンフォニーホール。今宵のメニュー「サマ-ナイト・ジャズ セッションII」の会場に一步足を踏み込めば、そこはいつものミュージカではない。ゴージャス極まりない照明の中、ステージ上に浮かび上がるのは、2台のピアノを始め、オルガンにチェレスタなど大小5台の鍵盤楽器。これは何か起きるに違いないとの期待感がかき立てられる。そう、今夜は鍵盤楽器奏者ルドルフ・ルッツとジャズ・ピアニスト佐山雅弘による、予測不

能の異種格闘技的セッションなのだ。思い起こせば、昨年初披露されたジャズ・アドリブバトル。あのもの凄さをさらにパワーアップしてステージに載せると言うのだからたまらない。まずはバッハの平均律をテーマに、オルガンとピアノによるアドリブ合戦の開幕だ。余裕綽々のルッツさんは、バッハのテーマを聴衆に選ばせたい、調性まで指定させるサービスぶり。その結果はなんと「トッカータとフーガ」ト長調バージョン。いきなり刺激的な音楽が炸裂だ。その後も留

まるどころを知らない2人のアドリブ合戦に場内のボルテージは最高潮。こんな風にキーボードが弾けたら人生は最高に楽しかろうと思わせるステージは久々だ。それにしてもルッツさん。1951年生まれの65歳とは信じられないほどのカッコよさ。余談ながら、ルッツさんの通訳&アシスタントを務めた某教会オルガニスト・ヒロコさんの優雅さも特筆もの。ジャズナイトはやっぱりこうでなきゃ。

田中 泰(クラシックソムリエ)



佐山雅弘さん(左)
ルドルフ・ルッツさん(右)
終演後、サインをいただきました。

7/29 サマ-ナイト・ジャズ

お客様の声から♪

ジャズバーでのルッツさんの演奏が楽しくて思わず顔がほころんでしまいました。(匿名) / 「ももたろう」がおもしろかったです。(10歳・小学生・ここにこ) / 何コレ〜の連続。あんなにピアノが弾けたらどんなに楽しいだろう… (35歳・会社員・聡子) / 魔笛はかわいらしくて、おじさん2人がアレンジしたとは思いませんでした。キュートなおじさん達のチャーミングな演奏で暑さを忘れるひとときでした。(匿名) / 大好きなガーシュウィンをたくさんありがとうございます。息ぴったり二人の演奏はず〜と聴いていたいほど楽しくステキでした♡(主婦・ゆっこ) / また1年待たなくちゃいけないんでしょうか…!? (匿名) / オルガンによるオーケストラとピアノのソロ、というのは本当に初めてですが音の広がり面白さ、素晴らしかったです。(59歳・会社員・Toko)

NEXT!! フェスタサマ-ミュージカ

明日はどう聴く?
20代応援団がナビゲート!

7月31日(日) 15:00 開演
東京都交響楽団
オーケストラの醍醐味
ドイツ2大交響曲

会場: ミューザ川崎シンフォニーホール

スター的な派手さとは無縁ながら、国内オケのポストを5つ兼任していることから、小泉和裕が業界関係者から高い信頼を得ていることがうかがい知れます。そんな小泉にとって最も息の長い関係を築いているのが都響。肩書きこそ何度変わったものの1995年から20年以上にわたり一度も関係が途切れることなく続いている相思相愛の間柄なのです。気心知れた安定感のあるコンビで演奏するのは通好みのふたつの第2交響曲。洗練職人芸がお好きな方にはイチオシ!(小室敬幸 作曲/音楽学)

インバルのブルックナー第7番、大野和士の前奏曲第5番、毎夏、ゆかりのマエストロとの真剣勝負をミュージカでも繰り広げてきた都響。このオーケストラを今年振るのは、2013年以前の登場となる名匠・小泉和裕。都響の終身名誉指揮者として充実した活動が続けるマエストロは、前回(ブラームスの交響曲第4番)に引き続きドイツ本流の名曲で挑む。今年4月、東京芸術劇場でのブラームスの第1番では「新たな次元に入った」と思わせる名演を繰り広げたこのコンビ。前半のベートーヴェン第2番も3月の公演で既に取り上げているが、舞台をミュージカに移して更なる熟成に期待したい。交響曲を愛するすべての方へ。(平岡拓也 大学生/音楽プロガー)



小泉和裕 ©堀田力丸

7/31 出張サマ-ミュージカ@しんゆり! 「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」の記事はミュージカ Facebook に掲載します。

夏ラボ 2016—きみが新しい音のクリエイターだ!

KAGURAで新感覚DJ体験! 無料

すべての人に演奏体験を——。KAGURAはそんな思いで開発されたアプリケーションです。PCのカメラで体の動きを感知して演奏が出来ます。次世代楽器KAGURAで新感覚DJ体験を!!



ECO楽器コーナー

昨年人気工作コーナー! 今年は作った楽器でエントリーすると、賞がもらえるチャンスも!!

お家にあって音が鳴りそうな材料を持ち寄ってみんなでアイデアを出し合って工作してみませんか?
(材料の例:トイレットペーパーやラップなどの芯、ペットボトル、ミニボトルの容器、など)



昨年の様子

5[金] 6[土] KAGURAワークショップ 無料

パソコンを操作して、自分だけのKAGURAを作って演奏♪まさにテクノロジーと音楽の両方が体験出来ます!

各日 10:00~12:00 / 13:00~15:00
事前申込制:各回 15名(小学生4~6年生)
申込先:ミュージア川崎シンフォニーホールHP「わくわくミュージア」上

協力:しくみデザイン

「夏ラボ」は東芝未来科学館とのコラボレーション企画で2014年からスタートしました。音楽と科学…、一見違うジャンルのものが一緒になった時、どんな化学反応がおきるか?一人ひとりが想像して新しいものを創りだす…そんな実験室のような場所です。今年も、8月2日から7日まで開催。世界のあらゆるコンテストでグランプリを獲得しているアプリケーション「KAGURA(カグラ)」を使って新感覚DJ体験が出来るコーナーやエコ楽器作りコーナーもあります。最新のテクノロジーとエコロジー両方体験できます。

期間中8月5日、6日にはKAGURAワークショップとして特別プログラムも実施します。(事前申込、定員になり次第終了)詳しくはチラシまたはホームページ「わくわくミュージア」をご覧ください。

(事業課 や)

本日(7/30)コンサート前のお楽しみ♪

本日の「NHK交響楽団」公演は「室内楽コンサート」のある公演です。

15:00 ~ 15:30

<ホルン四重奏>
福川伸陽、勝保 泰、木川博史、上里友二
J.ペツェル/タワー・ミュージック
M.プレトリウス/バロック組曲

<弦楽四重奏>
第1ヴァイオリン: 猶井悠樹
第2ヴァイオリン: 宮川奈々
ヴィオラ: 中村 翔太郎
チェロ: 市寛也
ラヴェル/弦楽四重奏曲から 第1,2楽章
※室内楽コンサートの演奏中の入退場はご遠慮いただいております。



新商品の紹介

ご要望にお応えして、ミュージアオリジナルのトートバッグができました!!
(小600円) (大900円)

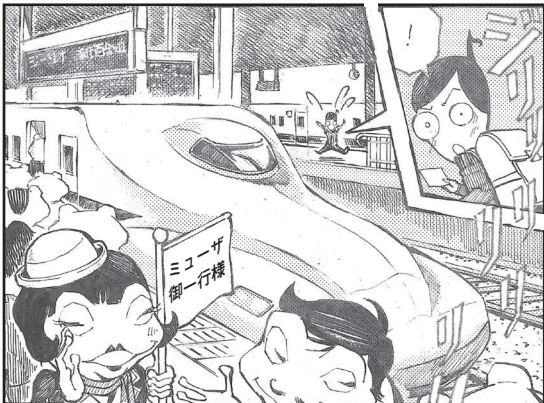
コンサート道

The Road to becoming a Concertgoer

第7回 明日のコンサート会場は?

画: 井上孝志
文: ミューザスタッフ

ホールに着いたのに、あれ? コンサートがやってない?!—首都圏では、コンサートが開催されない日はない! というくらい、連日コンサートが開催されています。サマ-ミュージアも、ミュージアだけでなく、新百合ヶ丘のテアトロ・ジ-リオ・ショウワでの出張コンサートもあります(明日<7/31>ですよ!)。コンサート前はチケット券面をよくよくチェックして、明日のコンサート会場はどこかご確認の上、余裕を持ってお出かけください。ミュージアとミュージズ(所沢)はくれぐれも間違えないように……!



パートナーショップのご紹介

エンジョイ! 川崎!!
Enjoy Kawasaki

焼肉・冷麺
ぴよんぴよん舎
ラゾーナ川崎プラザ1階・パートナーショップP.19

サマ-ミュージア特典 チケット提示で
1ドリンクサービス
※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

連日の猛暑に「ガツツリ&サツパリ」を欲する今日この頃。向かった先は、ラゾーナ1階フードコートで、ミニ豚丼と冷麺(S)のセット。サラダは、韓国コチジャン風ドレッシングが美味しい。冷麺は、なんとと言ってもスープ!キムチ、きゅうり、スイカにゆで卵と豪華版。ツルツル&シコシコの麺は、噛み応え充分。メインのミニ豚丼は、甘辛濃いめのタレが食欲をそそるが、おじ

さんには小さすぎ。今回は、ノーマルサイズにしよおと。サービスのワーロン茶が、お口をサツパリさせてくれて、大満足のランチでした!
事業課 やま



友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマ-ミュージア期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマ-ミュージアオリジナルチケットホルダーをプレゼント!
(~8月11日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪
詳しくは友の会入会窓口(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現在会員の方に

“最響の水”が当たる!
サマ-ミュージア公演のチケットを事前にご購入の友の会会員様、各公演抽選で20名様に“最響の水”をプレゼント!(当選者の座席番号を当日ロビーに掲示いたします。)

スタツフ日誌

当日の感動をすぐお届け!!



バックナンバーはミュージアホームページでも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>